

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにもきをつけましよう。

① □^{そんけい} の □^{きもち} を □^{ことば} で □^{あらわす}。

② □^{じごちゆうしんてき} な □^{かんがえ} を □^{あらためる}。

③ □^{おおく} の □^{せいぞろい} を □^{みつけ} て □^{かんげき} も

ひとしおだ。

④ あまりの □^{たのしみ} に □^{われ} を □^{わすれる}。

⑤ □^{ひと} を □^{うやまう} □^{ところ} を □^{たいせつ} にする。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① ぎょうちゆう
を うち
あける。

② こんなん
に まけ
ず、 しごと
を なし
と

げる。

③ こま
よてい
より かいぎ
の じかん
が のび
て

④ てんのう
ほうもん
こうぎゆう
えんき
りようへいか
の かいがい
へのび

が になる。

⑤ きぼう
を むね
にがんばろう。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□の□が□に

えらば
れる。

② □の□をていねいに□。

③ □の□の□の□を□。

④ □た□を□する。

⑤ □に□ある□まじこうば□に□。

⑥ □の□を□よみ□おえる□。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □_{せん} たく □_{もの} を □_{ほし} てから □_{つくえ} の □_{うえ} を

□_{せいめい} する。

② □_{げきじょう} の □_{うらぐち} を □_{けいび} する。

③ □_{おんし} のはげましの □_{ことば} に □_{かんげき} する。

④ □_{ふる} 。 □_{やまぞい} の □_{ちいさ} に □_{はげしい} □_{あめ} が

⑤ □_{かんまん} の □_さ が □_{おおきい} 。

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにもきをつけましよう。

① □^{こく} への □^{たび} は □^{きちよう} な □^{けいけん} である。

② □^{こと} なる □^{ぶんか} を □^{りかい} するのは □^{かんたん}

ではない。

③ □^{ほね} が □^{おれ} 、 □^{いたみ} で □^{こぎゆう} もできない。

④ □^{せんせい} から □^{しよくいんしつ} に □^{よぼ} れる。

⑤ □^{てつこつづくり} の □^{たてもの} 。

⑥ □^{すじ} 。 □^{きよらか} な □^{くうき} を □^{むね} いっぱいに

□^{すじ} 。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① すなば
で
あな
をほる。

② ないかくそうりだいじん
の
しじ
に
したかう

③ さぎん
を
みつける

④ にほんこくけんぽう
に
かん
する
いつきつ
の
ほん

を
よむ

⑤ しゆくん
と
けらい
が
しゆじゆうかんけい
を
むすぶ

国語 六一七 (書き)	第六がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① おやごうごう
をする。

② きびしい
げんじつ
を
しる。

③ ていしゅつきげん
を
げんしゅ
する。

④ こうよう
が
うつくしい
きせつ
になる。

⑤ だいがくせい
になった
あね
が
くちべに
を
つかう。

国語
六一八
(書き)

第六学年の漢字 (書き)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□が
あちこちにあつて

□だ。

② □の□を
する。

③ □に□が□。

④ □あぶない□ぼしよ□に□ちか
づいてはいけない。

⑤ □あに□は□きんにくしつ□で□ひき
しまつた□たいけい□だ。

次の文の□に当てはまる漢じを書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □_じだつ□_じに□_{ちゆうい}する。

② □_{ことば}の□_{つかいかた}を□_{あやまる}。

③ □_{ぎもん}を□_{かいけつ}する。

④ □_{ともだち}を□_{うたがう}ことはしない。

⑤ □_{ちようしよく}を□_{かんたん}に□_{すます}。

こく語
六—十
(書き)

第六学ねんの漢字(書き)

名前

ねん

組

番

取り組んだ日

月

日

次の文の□にあてはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

①

きせつはずれ

うる

の

しょうひん

を

ごわりびき

で

②

こっかい

の

かいぎ

を

のぼす

。

③

ボールが

われる

。

あたり

、

まじど

ガラスが

④

お

としま

を

りょうしん

に

あずける

。

⑤

けんりよく

を

こうし

する。

⑥

よぎんつうちょう

を

だいじ

に

かんり

する。

国語 六十一 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名まえ	年	組	番
-------------------	--------------	-----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① どんよりとした□の□にも□が

□
□
□
□
□
□

② □では□が□。

□
□
□
□
□
□

③ □な□を□する。

□
□
□
□
□
□

④ □を□するシステムを□する。

□
□
□
□
□
□

⑤ □に□を□。

□
□
□
□
□
□

⑥ □
□
□
□

□
□
□
□

国語 六十三 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだひ	月	にち
--------	---	----

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □_{かいぎ}を□_{かいし}する□_{じゅうく}になつた。

② トラックから□_{にものつ}を□_{おろす}。

③ あの□_ひのできごとを□_{こころ}に□_{かゝる}。

④ □_{しやうじ}ている□_{ひょうご}を□_{かゝる}する。

⑤ にぎやかな□_{しやうじ}が□_{すむ}。

こく語 六十四 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
--------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □から□が□に

やってくる。

② □の□みかんがすっかり□した。

③ □つめたい□がわき□でる□いずみ。

④ □ほうあん□が□しゅうぎいん□で□された。

⑤ □この□おりもの□は□あらう□と□ちぢむ□。

⑥ □たんしゆく□を□すすめ□、□ちぎょうじかん□を

□する。

国語 六―十五 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名まえ	年	組	番
--------------------	--------------	-----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① ユネスコの が を 。

② では、 のまゆを かくする。

③ として を たのち、
かんとくに した。

④ な が される。

⑤ を がける。

国語 六十一六 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
--------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□を□。

② □に□がけが□から

③ □なとうが□て□が

④ □を□した。

⑤ □の□ミスを□。

⑥ □にあつたが、□にも□で

□だ。

国語 六一七七 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
--------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① あんぜんそうち が ないぞう された きかい を

かいほつ する。

② もう わすれもの はしなないと せんげん した。

③ ゆうじん の せいじつ な たいど に こころ が あらわ

れた。

④ せん たく き が こしやう した。

⑤ ゆうじん の いけん を しりぞける 。

⑥ ふくつう で そうたい する。

こく語
六十八
(書き)

第六学年の漢字 (書き)

名前
年 組 番

取り組んだ日
月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① やちん を おさめる ため おおや の いえ を
たずねる。

② ぬの を どの いろ で そめる か けんとう する。

③ ものいじり の けいとうせい について かんがえる。

④ どうぶつこく を ほうもん する。

⑤ こくみん には のうぜい の ぎせき がある。

国語 六十九 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

- ①
- | | |
|----------------------|-------|
| <input type="text"/> | あたらしい |
| <input type="text"/> | ぶんか |
| を | つくる |
| <input type="text"/> | のは |
| <input type="text"/> | わかもの |
| た | |

ちだ。

- ②
- | | |
|----------------------|--------|
| かれは | どくそうてき |
| <input type="text"/> | |
| な | えんそう |
| <input type="text"/> | |
| を | する。 |

- ③
- | | |
|----------------------|------|
| <input type="text"/> | ながい |
| <input type="text"/> | かいだん |
| を | ふたん |
| <input type="text"/> | に |
| <input type="text"/> | かん |
| じる。 | |

- ④
- | | |
|----------------------|------|
| <input type="text"/> | たいかい |
| への | |
| <input type="text"/> | さんか |
| が | みとめ |
| <input type="text"/> | |
| られる。 | |

- ⑤
- | | |
|----------------------|------|
| あの | はいゆう |
| <input type="text"/> | |
| は | えんぎ |
| <input type="text"/> | |
| が | じょうず |
| <input type="text"/> | |
| だ。 | |

こく語
六一二十
(書き)

第六学年の漢字 (書き)

名前

年

組

番

取り組んだ日
月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□は□だ。

② □には□の□がある。

③ □の□は□にしておこう。

④ □で□の□が□

に□する。

⑤ □にある□の□を

□。

⑥ □は□です。

国語 六一二十一 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだひ	月	にち
--------	---	----

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① じゅうらい じゅうらい の やり □ かた を □ かいぜん することは
むずかしい

□。

② こんなん こんなん な □ もんだい だ が □ かいけつ に □ むけ て
どりよく

□ しよう。

③ ちそう ちそう に □ きょうみ が ある。

④ たんじょうび たんじょうび に □ はな が □ とどく よう に □ てはい

した。

⑤ はいく はいく の □ せつし を □ かう

□

□

□

。

国語 六一二十二 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名まえ	年	組	番
---------------------	--------------	-----	---	---	---

取り組んだ日 月	日
-------------	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
 送りがなにも気をつけましよう。

① □の□は□に□に

□する。

② □の□たちを□にして□を

□。

③ □の□をする。

④ □、□の□をしぼる。

⑤ コーヒーに□と□を□。

国語 六一二十三 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだひ	月	にち
--------	---	----

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □_{ともだち} と □_{せなか} を □_{あわせ} て □_{せいぐらへ}

をする。

② □_{なみき} すぎの □_{はいご} に □_{さんちよう} が □_{みえる}

③ □_{やま} の □_{いただき} から □_{ひので} を □_{おがむ}

④ □_{すいりしようせつ} の □_{ほん} を □_{いただく}。

⑤ □_{じたく} は □_{ゆうびんきよく} の □_{ならび} に □_{ある}。

⑥ □_{ちち} の □_{ひゃつかじてん} を □_{はいしゃく} する。

次つぎの文ぶんの□に当あてはまる漢かん字じを書かきましよう。
送おくりがなにもきをつけましよう。

① 江戸えどのばくふのしよだいのしようぐんは徳川家康だ。
とくがわいえやす

② べんろんたいかいがまくをあける。

③ しょめいをあつめるため、ふんきした。

④ ゆうぎをか。

⑤ じゃくてんをおぎなうため、せんしゆをほきよう。

する。

⑥ こうえんじゆもくのをながめる。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① ごみ□に、ごみを□。

② □を□して□する。

③ □は□□□□□を□

□だ。

④ □を□している。

⑤ かれの□は□□□□□になること

だ。

⑥ □で□□□□□がらを□。

国語 六一二十六 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① あさばん、かわぞいのを。

② へいわのたいせつさをつうかんした。

③ やまのちようじようでおべんとうをたべる。

④ いちまいのかいが、せんぞののこした。

かほう
だ。

⑤ ひこうきのいもけいのもうとのたからものだ。

国語 六一二十七 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだひ	月	にち
--------	---	----

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① ひはん
のべる
を
しょうち
で
こんご
の
ほうしん
を

。

② ちゅうしゃ
の
はり
を
みる
のが
にがて
だ。

③ ひ
が
くれ
たので
しょうめい
をつける。

④ あに
は
さいきん
、
ひとりぐらし
を
はじめ
た。

⑤ まと
に
むけ
て
や
を
いる
。

⑥ ていあん
に
たい
して
ひていてき
な
いけん
が

でる
。

国語 六―二十八 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □と□の□から□を

たて よこ ながさ めんせき

□。

もどめる

② その□の□を□して

さっか ちよさく たすう ほぞん

いる。

③ □の□に□の□が□

がが こてん おおく ひと らいほう

した。

④ いつか□を□してみたい。

ひこうき そうじゆう

⑤ □の□をかけた□を□

かいしや そんぼう しょうひん かいはつ

する。

⑥ ほ□のイルカは□で□する。

にゅうるい はい いくちゆう

国語 六一三十 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
--------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日	がつ	日
--------	----	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① げつめんたんさきの の の を を

する。

② かたほうの を しめる。

③ すいぶん の を ため、ふたを
とじる。

④ ジャムを する を 。

⑤ かち ねだんは たかい しょうひんが、それに みあう
のある だ。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにもきをつけましよう。

① りんじれつしゃ の じょうしゃけん を かう。

② おんだん な きこう の とうち で くらす。

③ あたたかい ので うわぎ は ひつよう ない。

④ あつい きせつ は しょうよく が なく なる。

⑤ ちぎ の しゅくしやく を しらべる。

国語 六一三十二 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □_{どうろ}の□_{かくちようこうじ}を□_{しき}する。

② □_{せんとう}の□_{かんばん}を□_{あたらしく}する。

③ □_{つうやく}の□_{しん}に□_{てんしやく}しようと□_{はら}を□_{きめる}。

④ □_{てんらんかい}が□_{ちゆうし}になつた□_{わけ}を□_{せつめい}する。

⑤ ラーメンの□_{おおもり}を□_{たべ}て□_{まんがく}になつた。

国語 六―三十三 (書き)	第六がく年の漢字(書き)	名前	年	組	ばん
取り組んだ日					
月					
日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □_{てぎ}ながら、□_{みごと}な□_{たたかいかた}に□_{した}を

□_{まく}。
□_{いちよう}の□_{ちようし}が□_{よい}。

② □_{いちよう}の□_{ちようし}が□_{よい}。

③ かれの□_{あいぼう}は□_{しよくむ}に□_{ちゆうじつ}だ。

④ うず□_{しお}が□_{いちばん}□_{おおきく}□_{みえる}のは

□_{まんちよう}の□_{とき}だそうだ。

⑤ □_{やくし}の□_{べんきよう}を□_{かよう}するたために

□_{せんもんがっこう}に□_{かよう}。

国語 六―三十四 (かき)	第六学年の漢字 (かき)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① □ が □ の □ の □ を □

する。

② オリンピックの □ リレーが □

③ □ すいな □ を □ ない。

④ 「□ は □」 という □ がある。

⑤ □ が □ を □ とかつぐ。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① おおく の □ を □ から □ する。

② ふじゆんぶつ を □ とり □ のぞく。

③ かしん を □ したがえ て □ で かける。

④ じんたい に □ ゆうがい な □ を □ する。

⑤ ぬの を □ さいだん して □ ようぶく を □ つくる。

⑥ □ びんごりつ で □ やちへ 。